

協議会だより

道南技術士協議会

平成16年度のCPD実施状況

道南技術士協議会は、昨年度より協議会としてCPDの企画・運営に積極的に取り組んでおります。平成16年度の活動内容をご報告いたします。

(1) 第1回 6月10日

企 画：公共施設維持管理の高度情報化とマネジメント

講 師：高波要技術士

場 所：北海道立工業技術センター 研修室

参加人数：15名

内 容：

前江別市水道局部長の高波技術士をお迎えし、これから迎える社会資本の大量老朽化時期を控え、財政負担を軽減させるための「ファシリティマネジメント手法」とそれを具体化するための情報化技術の活用手法について講演していただきました。

これからの社会資本管理のあり方について興味深く講演を聞かせていただき、参加者からも質疑や意見が多数出され活発な議論がなされました。

(2) 第2回 7月9日

企 画：函館圏における海藻資源とまちづくり

講 師：安井肇助教授（北海道大学水産学部）

場 所：北海道立工業技術センター 研修室

参加人数：21名

内 容：

都市エリア産学官連携促進事業（函館エリア）のガゴメ研究グループリーダーである安井先生をお招きして、函館圏における海藻資源の多様性とその周辺の水産資源の保全と活用方法についての講演をしていただきました。

漁場を保全、回復、造成する技術や漁場・漁港と

生物・食を通したふれあいと自然教育の重要性とその取り組みの実例紹介を通して、海岸の自然と人と野生生物の共生に向けて活発な議論を繰り広げました。

(3) 第3回 8月25日

企 画：国営農業用水再編対策事業大野平野地区見学会

講 師：紀本則晃技術士

（函館開発建設部農業開発課課長補佐）

場 所：函館市～大野町～七飯町（貸切バス）

参加人数：16名

内 容：

函館開発建設部のご協力により、貸切バスにて大野かんばい事業（昭和36年～昭和53年）において施設整備された多くの施設を見学させていただき、今後の施設改良について説明していただきました。

まず、木地挽山から大沼、大野平野、函館市を望み、全体像を説明していただいた後、それぞれの施設に出向き、詳細を説明していただきましたが、先人の苦勞と努力のあとを知るきっかけになりました。紀本技術士の軽快な説明に一同、身近な農業者の努力により食の安全性が守られている事を再確認させていただきました。特に大野平野でのみ生産される米の新品種である「ふっくりんこ」の開発の状況を通して「地産地消」への取り組みの重要性を再認識させられました。

身近でありながらなかなか知るきっかけが無かった農業の苦勞と努力について知るいいきっかけになったと参加者からも多数の感謝の声が寄せられ、実体験の大切さを感じると共に、また見学会を設けて欲しいとの声が多数寄せられました。

(4) 第4回 10月13日

企 画：道道函館南茅部線「新川汲トンネル」工事現場見学会

講 師：佐々木高技術士（戸田・岩倉・奥村 JV）

場 所：新川汲トンネル工事現場

参加人数：16名

内 容：

現在建設中の道道函館南茅部線「新川汲トンネル」の工事現場を函館土木現業所と戸田・岩倉・奥村 JVのご協力により見学させていただきました。

最新の NATM 工法の現場であり、機械化や効率化が進み非常に整然としていたため、過去にトンネル現場を経験していた参加者からは驚きの声が寄せられました。また、岩に重金属を含むため、廃水の重金属除去施設も見学させていただきました。

(5) 第5回 11月17日

企 画：沖合い漁業のためのユビキタスな活動支援システムの研究開発講演会

講 師：齊藤誠一教授（北海道大学水産学部）

場 所：北海道立工業技術センター 研修室

参加人数：23名

内 容：

北海道大学水産学部教授であり、技術士でもある齊藤先生をお招きして、人工衛星を活用した漁業資源の探査および情報提供システムの研究開発の状況と将来的な方向性について講演していただきました。

漁業の近代化に向けての最新技術に感心すると共

に漁業近代化の先進国であるノルウェーの現状をお聞きし先生の研究の重要性と後継者不足に悩む我が国における一次産業の構造転換の方向性について活発に議論しました。

議論は尽きず、場所を移しての情報交換会の会場においても漁業や農業などの一次産業の活性化策についての議論を活発に行うと共に釣り談義に花が咲くなど情報交換と親睦にとってもいい機会となりました。

以上、平成16年度は現在まで5回のCPD勉強会を企画運営してきました。年が変わり17年1月15日には、第6回目の勉強会として以下のように企画しております。

日時：1月15日15時～(予定)

企画：函館における地盤と地質

講師：川端健司技術士（三友コンサルタント）

場所：ホテル330 函館

当初、協議会の幹事会においては、今年度のCPD勉強会は年間4回程度に減らし、負担を少なくしようとの共通認識でございました。しかし、運営していくにつれて会員の方々から次々と興味深い企画が持ち込まれ、回を重ねております。情報交換や親睦の機会にもなり、定期的に開催して欲しいとの意見も寄せられており、今後も継続して行きたいと考えております。

(文責：道南協議会幹事 布村 重樹)